

9月5日(土)
八幡シネマ

あなたに
また逢えるなんて、
叶うはずもないと思っていました。
なのに、逢いたくて逢いたくて。
あなたのことを
知っている人も、
知らない人も、
あなたを
ずっと待っていた気がします。
どうしてこんなに逢いたかったのか
その理由は、
きっとみんな違うと思うけれど。
ほんとうに、ほんとうに、ほんとうに。
お帰りなさい。

桑田佳祐「男はつらいよ」主題歌を歌う

男はつらいよ 50 お帰り 寅さん

渥美清／倍賞千恵子 吉岡秀隆 後藤久美子 前田吟 池脇千鶴 夏木マリ 浅丘ルリ子

美保純 佐藤蛾次郎 桜田ひより 北山雅康 カンニング竹山 濱田マリ 出川哲朗 松野太紀 林家たま平 立川志らく 小林稔侍 笹野高史 橋爪功

原作:山田洋次 脚本:山田洋次 朝原雄三 音楽:山本直純 山本純ノ介

主題歌:「男はつらいよ」渥美清／オープニング 桑田佳祐

撮影:近森真史 美術監修:出川三男 美術:倉田智子 吉澤祥子 照明:土山正人 編集:石井巌 石島一秀 録音:岸田和美 プロデューサー:深澤宏

監督:山田洋次

男はつらいよ
50
SHOCHIKU

チール:金田正

製作・配給:松竹株式会社

©2019松竹株式会社 特別協賛:木下グループ スミフルジャパン スターツグループ みずほ銀行 芙蓉総合リース



困ったことがあったらな、風に向かって俺の名前を呼べ。

おじさん、どっからでも飛んできてやるから

—車寅次郎—

50年かけて作られた奇跡の映画

今を生きる私たちに【未来と希望】をくれる感動作！

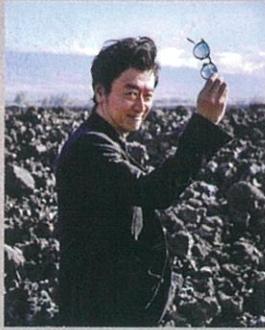
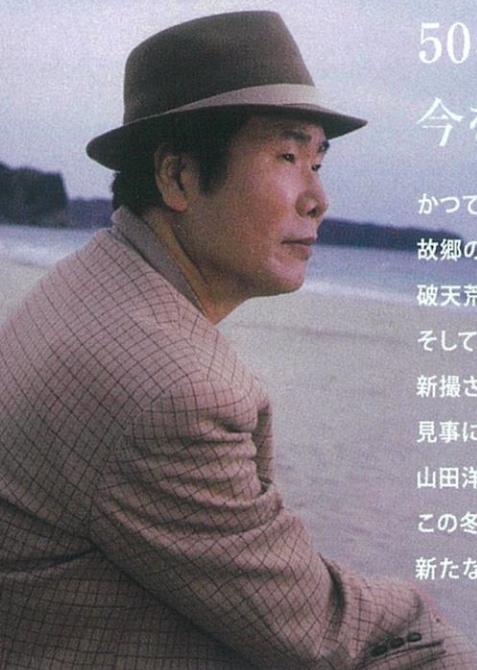
かつて国民的人気を誇った映画シリーズ『男はつらいよ』。日本中を旅する主人公・車寅次郎、通称“寅さん”が、故郷の柴又に戻ってきては、家族や恋したマドンナを巻き込み、騒ぎを起こす。

破天荒で、変わり者で、自由奔放。でも、その温かくて優しい人柄に誰もが魅了され、愛され続けた——。

そして、第1作の公開から50周年となる2019年、50作目の最新作が誕生！

新撮された登場人物たちの“今”を描く映像と、4Kデジタル修復されて蘇る寅さんのシリーズ映像が見事に紡ぎ合う、新たなる『男はつらいよ』の物語。50年の歩みがあったからこそ完成した本作は、山田洋次監督自身が「今まで観たことのない作品が出来た」と驚くほど想像を超える映画に。

この冬、ずっと待ち望んでいた人も、初めて出会う人も、寅さんにそっと背中を押され、新たな人生の一歩を踏み出す元気をもらえる！



オープニング主題歌は…
桑田佳祐が担当！



寅さん：渥美清
ギネスブック認定！

ひとりの俳優が演じた
もっとも長い映画シリーズ

STORY

小説家の満男（吉岡秀隆）は、中学3年生の娘と2人暮らし。妻の七回忌の法要で柴又の実家を久々に訪ね、母・さくら（倍賞千恵子）と父・博（前田吟）、近所の人たちと昔話に花を咲かせる。それは、騒々しくて楽しかった伯父・寅次郎（渥美清）との日々。いつも味方でいてくれた寅さんに長い間会えず、満男の心には大きな穴が空いていた。最新作の評判は良く、

出版社の担当編集・高野（池脇千鶴）から次回作の執筆を薦められるが、いまいち乗り気になれない。そんなある日、書店で行ったサイン会で、満男は初恋の人・イズミ（後藤久美子）と偶然再会する。2人は寅さんの昔の恋人・リリー（浅丘ルリ子）のもとを訪ね、そこで寅さんとの思いがけない過去を聞かされる。翌日、満男とイズミはイズミの母・礼子（夏木マリ）に会いに行くのだが…。

2020年9月5日(土)

八幡市文化センター 大ホール

上映時間

①午前10時30分 ②午後1時30分

入場料 前売 900円(当日1100円) 3歳以上有料

新型コロナ感染防止の取り組み

新型コロナ感染防止のため、①午前・②午後とも定員250名です。
◆前売券の販売状況により当日券を販売しないことがあります。

◆先着順に指定表示のある座席にお座りください。（対人距離確保）

◆換気のため途中で1回上映を停止する予定です。

◆ご来場にあたっては、手指の消毒、マスク着用、記名入場にご協力ください。

◆発熱など体調のすぐれない方はご来場をお控えください。

（チケットの払い戻しをします。）

◆大声・近距離・対面での会話は、なるべくお控えください。

◆ゴミ箱に鼻水、唾液などのついたものを破棄する場合は、必ずビニール袋にいれて密閉してください。

◆新型コロナの状況により開催を中止する場合があります。

●前売券発売中 :八幡市文化センター/八幡市立生涯学習センター/松花堂庭園・美術館

主催:(公財)やわた市民文化事業団 ☎ 075-971-2111/京都映画センター ☎ 075-256-1707